

平成 17 年 3 月期 決算関連補足資料

1. 業績の推移

(連結)

(単位：億円、( )内は対前年同期増減率)

	平成16年3月期	平成17年3月期	平成17年9月 中間期予想	平成18年3月期 予想
売上高	1,708 ( 0.8%)	1,739 ( 1.8%)	820 ( 2.2%)	2,440 ( 40.3%)
営業利益	93 ( 27.9%)	104 ( 12.0%)	40 ( 4.9%)	205 ( 97.2%)
経常利益	102 ( 21.1%)	112 ( 10.2%)	39 ( 10.0%)	195 ( 74.3%)
当期純利益	80 ( 25.2%)	69 ( 13.1%)	7 ( 73.4%)	101 ( 45.9%)
株主資本利益率(ROE)	6.5%	5.2%	——	——

(単体)

(単位：億円、( )内は対前年同期増減率)

	平成16年3月期	平成17年3月期	平成17年9月 中間期予想	平成18年3月期 予想
売上高	1,578 ( 1.0%)	1,604 ( 1.6%)	750 ( 2.1%)	2,310 ( 44.0%)
営業利益	87 ( 29.8%)	96 ( 10.8%)	37 ( 4.4%)	198 ( 105.9%)
経常利益	101 ( 19.7%)	106 ( 4.8%)	37 ( 10.3%)	190 ( 78.9%)
当期純利益	82 ( 28.0%)	67 ( 18.5%)	7 ( 72.9%)	100 ( 49.3%)
株主資本利益率(ROE)	6.8%	5.1%	——	——

2. 平成 17 年 3 月期 連単倍率

(単位：億円)

	連結	単体	差額	倍率
売上高	1,739	1,604	135	1.08倍
営業利益	104	96	8	1.08倍
経常利益	112	106	6	1.05倍
当期純利益	69	67	2	1.03倍

- ・ 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
- ・ 本資料の数字は四捨五入で表示しています。
- ・ 平成 18 年 3 月期の業績予想は、本年 10 月 1 日付の住友製薬との合併を前提とした数字になっていますが、株主総会の承認につき詳細な情報交換は行っておりません。従って、業績予想の明細については、公表しておりません。

### 3. 連結会社の状況（平成17年3月31日現在）

		設立年月日	資本金	持株比率	従業員数
当	社	明治30年5月	13,444百万円	—	2,251人
連結 子 会社	五協産業株式会社	昭和22年10月	100百万円	52.48%	75人
	マルピー薬品株式会社	昭和43年3月	30百万円	100%	52人
	ニチエイ産業株式会社	昭和42年4月	10百万円	100%	26人
	株式会社マルピー物流サービス	平成4年5月	30百万円	100%	23人
合計		—	—	—	2,427人

（注）従業員数は出向者を除いて表示。出向者を含め執行役員を除いた当社単体の従業員数は 2,296人。

### 4. 減価償却実施額

（単位：億円）

		平成16年3月期	平成17年3月期
連	結	57.3	51.3
単	体	56.9	51.0

### 5. 設備投資

・設備投資額（無形固定資産を含む）

（単位：億円）

		平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期 予想
連	結	42.9	30.6	95
単	体	42.8	30.4	95

・設備投資の内訳（単体）

（単位：億円）

		平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期 予想
生	産	16.1	6.0	40
研	究	19.6	21.2	25
販	管	7.1	3.3	30

・平成18年3月期の主な設備投資

鈴鹿工場 新固形製剤棟の建設 20億円（総予算 60億円、平成19年9月中間期 竣工予定）

合併関連設備投資 40億円（総予算 40億円、平成18年3月期分）

### 6. 輸出額

（単位：億円）

		平成16年3月期	平成17年3月期
連	結	36.3	38.2
（対売上高比率）		（2.1%）	（2.2%）
単	体	35.5	37.2
（対売上高比率）		（2.2%）	（2.3%）

## 7. 売上債権滞留月数

		平成16年3月期	平成17年3月期
連	結	4.52ヶ月	4.65ヶ月
単	体	4.67ヶ月	4.82ヶ月

## 8. MR数(平成17年3月31日現在)

715人...マネージャー除く  
780人...マネージャー含む

## 9. 販売費及び一般管理費

(連結)

(単位:億円)

		平成16年3月期	平成17年3月期
販売費及び一般管理費		515	524
(対前年同期増減率)		(0.6%)	(1.7%)
(対売上高比率)		(30.2%)	(30.1%)
人件費		183	175
広告宣伝費		17	17
販売促進費		34	34
研究開発費		159	174
(対前年同期増減率)		(4.7%)	(9.5%)
(対売上高比率)		(9.3%)	(10.0%)
その他		122	124

(単体)

(単位:億円)

		平成16年3月期	平成17年3月期
販売費及び一般管理費		496	505
(対前年同期増減率)		(1.2%)	(2.0%)
(対売上高比率)		(31.4%)	(31.5%)
人件費		168	161
広告宣伝費		17	17
販売促進費		33	33
研究開発費		160	175
(対前年同期増減率)		(4.4%)	(9.4%)
(対売上高比率)		(10.1%)	(10.9%)
その他		118	120

10. 事業の種類別売上高

(連結)

(単位：億円)

	平成16年3月期	平成17年3月期
医薬品	1,185	1,221
動物薬	59	46
飼料・飼料添加物	228	227
食品添加物	152	154
その他	85	91
合計	1,708	1,739

(単体)

(単位：億円)

	平成16年3月期	平成17年3月期
医薬品	1,179	1,216
動物薬	59	46
飼料・飼料添加物	228	227
食品添加物	77	78
その他	35	37
合計	1,578	1,604

(注) 各セグメント売上高は千万円以下四捨五入のため、合計数字に合致しない場合があります。

11. 主要製品の販売状況（単体）（大日本製薬製品のみ）

・医薬品

（リベート控除前、単位：億円）

品 目 [薬効]	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期 予想
ク ラ リ シ ッ ド [マクロライド系抗生物質製剤]	189	191	179
ガ ス モ チ ン [消化管運動促進剤](内、輸出)	157 (5)	156 (5)	180 (7)
エンシュア・リキッド [経腸栄養剤]	138	139	136
エ バ ス テ ル [持続性抗アレルギー剤]	102	103	100
プ ロ レ ナ ー ル [末梢循環改善剤]	83	100	130
シ ナ ジ ス [RSウイルス感染発症抑制剤]	54	75	78
エ ク セ グ ラ ン [抗てんかん剤](内、輸出)	59 (25)	63 (28)	61 (24)
グ リ ミ ク ロ ン [経口血糖降下剤]	50	50	48
セ ボ フ レ ン [全身吸入麻酔剤]	41	43	43
ロ ベ ミ ン [止瀉剤]	32	33	32
キ ュ バ ー ル [吸入ステロイド喘息治療剤]	15	30	43
セ レ ネ ー ス [抗精神病剤]	31	29	25

・関連事業製品

（単位：億円）

品 目	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期 予想
ペット用特別療法食	223	223	235
調味料関係	33	33	36

12. 製品開発状況表

・自社で開発中の品目

開発段階	製品名 剤型	一般名	薬効分類	備考
承認（薬価収 載待ち） 剤型追加	<b>エバステル OD 錠</b> EBASTEL 口腔内崩壊錠	エバスチン ebastine	<b>持続性抗アレルギー 一剤</b>	Almirall 社からの導入 品・自社製剤技術による 剤型追加

開発段階	製品名 剤型	一般名	追加予定投与経路	備考
申請中 新投与経路	<b>エフェドリン「ナ ガオ」</b> EPHEDRINE NAGAI 注射剤	塩酸エフェドリン ephedrine hydrochloride	<b>静脈内投与</b> 適応症：麻酔管理 時の血圧降下	既承認投与経路は皮下投 与 3社共同申請

開発段階	製品(コード)名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症	備考
申請準備中	<b>ロナセン</b> LONASEN (AD-5423) 錠剤・散剤	ブロナンセリン blonanserin	<b>統合失調症治療剤</b>	自社開発品
申請準備中 新効能	<b>トレモード</b> TREMODO 錠剤	ゾニサミド zonisamide	<b>適応症追加</b> (パ - キンソン病)	自社開発品 別銘柄申請を予定 既承認適応症：てんかん (製品名:エクセグラン)

開発段階	コード名 剤型	一般名	薬効分類	備考
第 III 相	AS-3201 錠剤	未定	<b>糖尿病合併症治療 剤</b>	自社開発品 米国・カナダ：第 III 相 実施中 国内：第 II 相実施中 (国内:杏林との共同開発)

開発段階	製品(コード)名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症	備考
第 II 相	AC-3933 経口剤	未定	認知症治療剤	自社開発品 欧州：前期第 II 相終了 米国：前期第 II 相準備中 国内：第 I 相実施中
第 II 相 新効能	ガスマチン GASMOTIN 錠剤	クエン酸 モサプリド mosapride citrate	適応症追加 (胃切除後症候群)	自社開発品 既承認適応症：慢性胃炎 に伴う消化器症状（胸や け,悪心,嘔吐）

開発段階	コード名 剤型	一般名	薬効分類	備考
第 I 相	AC-5216 経口剤	未定	不安・うつ病治療 剤	自社開発品

#### 【導出検討中の品目】

プロナンセリン	統合失調症治療剤（錠剤、自社開発品）
AS-3201	糖尿病合併症治療剤（錠剤、自社開発品）
AC-3933	認知症治療剤（錠剤、自社開発品）
AE-3763	全身性炎症性症候群(SIRS)に伴う肺障害治療剤（注射剤、自社開発品）

#### 【前期からの主な変更点】

アンベック注（新投与経路）	承認されたため削除
キュバル（小児用量）	承認されたため削除
エバステル OD 錠	申請中から承認（薬価収載待ち）に変更
ロナセン	申請準備中に変更
ゾニサミド（パーキンソン病）	製品名を「トレモード」に変更 申請準備中に変更
AS-3201	国内：第 II 相準備中から第 II 相実施中に変更
AC-3933	米国：前期第 II 相準備中を追加

・海外で開発中の主な品目（自社またはライセンサー）

一般名/コード名 (日本での販売名)	薬効分類	開発状況
ゾニサミド zonisamide (エクセگران)	抗てんかん剤	米国：2000年4月発売、2004年4月よりエーザイ・インクが販売中 欧州：2005年3月承認（エーザイ・リミテッド）
モサプリド mosapride citrate (ガスモチン)	消化管運動促進剤	中国：現地の販売会社を通じて2001年6月に発売 韓国：大熊製薬が2002年4月に発売
AS-3201	糖尿病合併症治療剤	米国・カナダで第 相試験実施中（自社）
AC-3933	認知症治療剤	欧州での前期第 相試験を終了（自社） 米国で前期第 相試験準備中（自社）
ブロナンセリン blonanserin AD-5423	統合失調症治療剤	欧州・米国で第 相
AC-5216	不安・うつ病治療剤	2002年2月、Novartis 社に日本、韓国、台湾、中国を除く全世界の開発権をライセンス 同社が米国・カナダで前期第 相試験実施中
AG-7352	抗癌剤	2003年10月、Sunesis 社に全世界の独占的開発権をライセンス、同社が第 相試験実施中（同社開発コード：SNS-595）

【前期からの主な変更点】

ゾニサミド	欧州：2005年3月承認に変更
モサプリド	欧米：武田薬品へのライセンスを解消、INDを大日本USAへ移管
AC-3933	Sanofi-Aventis社へのライセンスを解消 米国：前期第 相試験準備中（自社）を追加
ブロナンセリン	Almirall社へのライセンスを解消、INDを大日本USAへ移管
AC-5216	米国・カナダで前期第 相試験実施中に変更

### 13. 主な開発品のプロフィール

#### エバステル 持続性抗アレルギー剤（剤型追加：口腔内崩壊錠）

- ・ 自社/導入：導入（Almirall 社から導入）
- ・ 1996年6月発売。強力で選択的な末梢ヒスタミンH<sub>1</sub>受容体拮抗作用を示す。また、作用は持続的で、1日1回投与で有効性が維持される。口腔内で溶けて水なしで飲める錠剤の剤型追加。
- ・ 開発段階：承認（薬価収載待ち）（国内）

#### ロナセン 統合失調症治療剤

- ・ 自社/導入：自社
- ・ ドーパミンD<sub>2</sub>受容体およびセロトニン5<sub>2</sub>受容体の遮断作用を有しており、統合失調症の陽性症状（幻覚、妄想など）のみならず、陰性症状（感情の平板化、意欲低下など）に対する改善効果も期待される。また、類薬に比べ錐体外路症状や血圧低下等の副作用が少ないことも期待される。
- ・ 開発段階：申請準備中（国内）、フェーズ（欧州・米国）

#### トレモード パーキンソン病（適応症追加）（既承認適応症：てんかん）

- ・ 自社/導入：自社
- ・ 1989年6月、抗てんかん剤として発売（製品名「エクセگران」）。ドパミン受容体作用薬に代表される従来の抗パーキンソン病薬と異なるメカニズムでパーキンソン病の症状を改善すると考えられる。別銘柄申請を予定。
- ・ 開発段階：申請準備中（国内）

#### AS-3201 糖尿病合併症治療剤

- ・ 自社/導入：自社
- ・ アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病合併症の一つである糖尿病性神経障害を改善する。国内外で開発中の同種薬剤に比べ、酵素阻害作用が強く、作用持続が長い。フェーズ a 試験の結果、ヒト神経内への移行は良好で用量依存的に神経内ソルビトール、フルクトースの蓄積を阻害した。現在、糖尿病性神経障害に対して有用性を精査するためのフェーズ 試験を実施している。
- ・ 開発段階：フェーズ 実施中（米国・カナダ）、フェーズ 実施中（国内、杏林との共同開発）

#### AC-3933 認知症治療剤

- ・ 自社/導入：自社
- ・ ベンゾジアゼピン受容体にパーシャルインバースアゴニストとして作用する。アセチルコリンエステラーゼ阻害剤とは異なり、アセチルコリン遊離促進によりアセチルコリン神経系を賦活するとともに、グルタミン酸神経系を賦活する作用も有し、認知症の中核症状で

ある記憶障害の改善が期待される。

- ・ 開発段階：フェーズ a 終了（欧州）、フェーズ a 準備中（米国）  
フェーズ 実施中（国内）

ガスモチン 消化管運動促進剤（適応症追加：胃切除後症候群）

- ・ 自社/導入：自社
- ・ 1998年10月発売。世界で初めての選択的にセロトニン5-HT<sub>4</sub>受容体にアゴニストとして作用する薬剤で、優れた消化管運動と胃排出促進作用を示す。胃切除後症候群への適応症拡大のためのフェーズ を実施中。
- ・ 開発段階：フェーズ 実施中（国内）

AC-5216 不安・うつ病治療剤

- ・ 自社/導入：自社
- ・ ミトコンドリア型ベンゾジアゼピン受容体にアゴニストとして作用することによりニューロステロイドの生成を促し、それがGABA<sub>A</sub>受容体等に作用するという新しいメカニズムに基づく抗不安、抗うつ剤。
- ・ 開発段階：フェーズ 実施中（国内）  
Novartis 社がフェーズ a 実施中（米国・カナダ）

以 上